【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【公開番号】特開2009-192911(P2009-192911A)
【公開日】平成21年8月27日(2009.8.27)
【年通号数】公開・登録公報2009-034
【出願番号】特願2008-34552(P2008-34552)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　15/16　　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/10　　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　21/14　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　15/16
Ｇ０３Ｇ　15/10
Ｇ０３Ｇ　21/00　　３７２

【手続補正書】
【提出日】平成23年1月18日(2011.1.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
転写ベルトに転写された不揮発性キャリアを有する液体現像剤を回収するクリーニングローラと、
前記転写ベルトに当接して前記転写ベルトをクリーニングするクリーニングブレードと、
前記クリーニングブレードに配されて前記転写ベルトに当接するシール部材と、
前記クリーニングブレード及び前記シール部材を前記転写ベルトに対して当接もしくは離間させる離当接機構と、
を有し、
前記離当接機構により前記クリーニングブレード及び前記シール部材を前記転写ベルトに当接させるときに、前記離当接機構は前記クリーニングブレードを前記転写ベルトに当接させた後、前記シール部材を前記転写ベルトに当接させることを特徴とするクリーニング装置。
【請求項２】
前記シール部材は、前記クリーニングブレードより柔らかい材料で形成される請求項１に記載のクリーニング装置。
【請求項３】
不揮発性キャリアを有する液体現像剤で現像された像が転写される転写ベルトと、
前記転写ベルトに転写された像を転写材に転写する転写部と、
前記転写部で前記像が転写された前記転写ベルトをクリーニングするクリーニングローラと、
前記転写ベルトに当接して前記転写ベルトをクリーニングするクリーニングブレードと、
前記クリーニングブレードに配されて前記転写ベルトに当接するシール部材と、
前記クリーニングブレード及び前記シール部材を前記転写ベルトに対して当接もしくは

離間させる離当接機構と、
を有し、
前記離当接機構により前記クリーニングブレード及び前記シール部材を前記転写ベルトに当接させるときに、前記クリーニングブレードが前記転写ベルトに当接した後、前記シール部材を当接させることを特徴とする画像形成装置。
【請求項４】
前記クリーニングブレードは、前記クリーニングローラでクリーニングされた前記転写ベルトに当接し、前記離当接機構は、前記クリーニングローラを前記転写ベルトに当接もしくは離間させるとともに、前記クリーニングブレードを前記転写ベルトに当接させた後前記クリーニングローラを前記転写ベルトに当接させる請求項３に記載の画像形成装置。
【請求項５】
前記離当接機構が、前記クリーニングブレードを前記転写ベルトから離間させた時、前記シール部材の前記転写ベルトとの当接面を鉛直方向の上方に向ける請求項３または4に記載の画像形成装置。
【請求項６】
前記転写ベルトを巻き掛けるとともに、前記転写ベルトにテンションを付与する巻回ローラを有し、前記クリーニングブレードは、前記転写ベルトを介して前記巻回ローラに当接する請求項３～５のいずれか１項に記載の画像形成装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明のクリーニング装置は、前記課題を解決するために、転写ベルトに転写された不揮発性キャリアを有する液体現像剤を回収するクリーニングローラと、前記転写ベルトに当接して前記転写ベルトをクリーニングするクリーニングブレードと、前記クリーニングブレードに配されて前記転写ベルトに当接するシール部材と、前記クリーニングブレード及び前記シール部材を前記転写ベルトに対して当接もしくは離間させる離当接機構と、を有し、前記離当接機構により前記クリーニングブレード及び前記シール部材を前記転写ベルトに当接させるときに、前記離当接機構は前記クリーニングブレードを前記転写ベルトに当接させた後、前記シール部材を前記転写ベルトに当接させることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
また、本発明のクリーニング装置は、前記シール部材は、前記クリーニングブレードより柔らかい材料で形成される。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
また、本発明の画像形成装置は、不揮発性キャリアを有する液体現像剤で現像された像が転写される転写ベルトと、前記転写ベルトに転写された像を転写材に転写する転写部と、前記転写部で前記像が転写された前記転写ベルトをクリーニングするクリーニングローラと、前記転写ベルトに当接して前記転写ベルトをクリーニングするクリーニングブレー

ドと、前記クリーニングブレードに配されて前記転写ベルトに当接するシール部材と、前記クリーニングブレード及び前記シール部材を前記転写ベルトに対して当接もしくは離間させる離当接機構と、を有し、前記離当接機構により前記クリーニングブレード及び前記シール部材を前記転写ベルトに当接させるときに、前記クリーニングブレードが前記転写ベルトに当接した後、前記シール部材を当接させることを特徴とする。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
また、本発明の画像形成装置は、前記クリーニングブレードは、前記クリーニングローラでクリーニングされた前記転写ベルトに当接し、前記離当接機構は、前記クリーニングローラを前記転写ベルトに当接もしくは離間させるとともに、前記クリーニングブレードを前記転写ベルトに当接させた後前記クリーニングローラを前記転写ベルトに当接させる。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
また、本発明の画像形成装置は、前記離当接機構が、前記クリーニングブレードを前記転写ベルトから離間させた時、前記シール部材の前記転写ベルトとの当接面を鉛直方向の上方に向ける。

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
また、本発明の画像形成装置は、前記転写ベルトを巻き掛けるとともに、前記転写ベルトにテンションを付与する巻回ローラを有し、前記クリーニングブレードは、前記転写ベルトを介して前記巻回ローラに当接する。

【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】